

第 53 回 山口県医師会ゴルフ大会

と き 平成 30 年 9 月 30 日 (日)

ところ 宇部 72 カントリークラブ東コース

[報告：小野田医師会 長澤 英明]

第 53 回山口県医師会ゴルフ大会は台風 24 号が接近する 9 月 30 日、無事(?)に行われました。栄えある優勝は宇部市医師会の山本一嗣先生でした。不安な天候の中、安定したラウンドで見事、栄冠を勝ち取られました。今回は県医師会からの代々続く大きなトロフィーとは別に立派な優勝トロフィーを用意していましたが、とても喜んでいただきました。優勝記は別途書いていただくことになっていますので、経過はそちらをご参照ください。

準優勝は担当医師会(小野田)の藤村嘉彦先生、3位は山口市医師会の永田一夫先生でした。1位から3位までのスコアは1差と接戦でした。参加者20名が全員、無事ホールアウトされたのを確認した時は、幹事としての安堵感は最高の気分でした。参加された先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。

ここに至るまでは紆余曲折がありました。以下にその経過を書いていこうと思います。

昨年の担当の長門市医師会から引き継ぎ、今回は小野田医師会と厚狭郡医師会の引き受けて県医師会ゴルフ大会を行うことになりました。小野田医師会理事会で日程調整とゴルフ場の設定、実行委員会のメンバーの選定が行われ、私が実行委員長をおおせつかりました。県医師会の行事と重ならないように、また会員の皆さんが参加しやすいような日程を考え、9月30日と決定。ゴルフ場は県中央部に位置し皆さんが来場しやすい宇部72カントリークラブに決定しました。

まず最初のアクシデント。郡市医師会にすでに案内を出した後に発覚したのですが、当日は中国四国医師会の会議が決まっており、県医師会の執行部の先生方が参加できないということになりました。今や日程変更不可能な状況であることを、

県医師会の先生方にはご理解いただきました。

参加者は当初53名、アウト・イン各7組で組み合わせを作成し、各医師会あてに組み合わせ表を送付して参加の先生方に届けていただきました。賞品の選定にあたり、今回は持って帰るのに荷物にならないように、商品券でということになりました。参加賞は小野田で有名な「伝助」というお菓子屋さんの詰め合わせセットとしました。当日の運営に関して、宇部カントリークラブの担当者と綿密な打ち合わせを行いました。その際、宇部カントリークラブからプレイ無料券とオリジナルタオルセットを提供していただきました。県医師会長からは会長賞の提供があり、合わせて特別賞として使わせていただきました。

開催10日前頃に台風24号が発生し、この動向が気になるようになり、開催4日前頃から先生

成績表

(上位10位)

| 順位 | 氏名 | 医師会 |
|-----|-------|-----|
| 優勝 | 山本一嗣 | 宇部市 |
| 準優勝 | 藤村嘉彦 | 小野田 |
| 3位 | 永田一夫 | 山口市 |
| 4位 | 山本俊比古 | 下関市 |
| 5位 | 城戸研二 | 小野田 |
| 6位 | 清水芳幸 | 宇部市 |
| 7位 | 増満洋一 | 吉南 |
| 8位 | 伊藤忠彦 | 吉南 |
| 9位 | 吉金秀樹 | 吉南 |
| 10位 | 横山一雄 | 宇部市 |

方からキャンセルの連絡があり、53 名の参加予定が 34 名となり組み合わせの変更を行いました。大会 2 日前に台風接近につき開催が危ぶまれるようになりましたが、宇部カントリークラブがクローズされない限り予定どおり開催するという強引な決断をし、参加者に連絡しました。その後も相次いでキャンセルの連絡がありましたが、遠方から参加の先生たちのキャンセルは当然のことと思います。予報では「不要不急な外出は控えてください」という速報があり、ゴルフなどするなんという意見が多くありました。

結局、当日のキャンセルが 4 名あり、最終的に 20 名でゴルフ大会を行うことになりました。宇部・小野田の先生方が主体でしたが、下関から 1 名、山口から 1 名、吉南から 3 名の参加でした。台風にも負けず参加していただいた先生方には感謝いたします。

幸いラウンドスタート時は風も強くなく、時々小雨で、びしょ濡れになることもなく前半が終了しました。ゴルフ場は医師会の 5 組でほぼ貸し切り状態でした。前半終了時はあまり風もなく、雨もほとんど降っていない状態でした。台風が近づく前のホールアウトを目指し、昼の休憩を取らずスループレイで後半も頑張りました。正午過ぎには無事に全員ホールアウトしました。

最後の数ホールは雨風が強くなってきましたが、この台風の最中にありながらもゴルフを決行してよかったというのが幹事役としての感想です。参加者の先生方を見て、フルマラソンを完走してゴールをしたような姿には感動を覚えました。

ラウンド終了後には、懇親会を兼ねて表彰式を行いました。参加していただいた全員に賞品がもれなくいきわたるようにしました。台風接近の中、大会に参加していただいた先生方を手ぶらで帰すことがなくてよかったと思っています。

参加申し込みしていただいた先生方にはご心配をかけ、また参加料の返金もできず申し訳なく思っています。お詫びにせめて参加賞だけでも送らせていただきました。

次回大会は光・下松医師会が引き受けとなっています。よろしくお祈いします。ゴルフ人口の減

少・高齢化で継続が困難になりそうで心配しています。もっと若い先生方に参加して頂くことで、この大会が山口県医師会の活性化に少しでも貢献できればと思っています。

山口県医師会ゴルフ大会に優勝して

宇部市医師会 山本 一嗣

台風 24 号のニュースで、楽しみにしていた県医師会ゴルフ大会が一気に不安に変わりました。大陸へと北上していたのに急に進路を北東に変え、大会当日に本州直撃の可能性もでてきたからです。大会実行委員長の小野田医師会 長澤英明先生から 2 日前に FAX で「雨天決行」との連絡、台風の接近に伴いゴルフ場からの「クローズド」の電話を待ちもしましたがそれもなく、覚悟を決めました。

大会当日、小雨の中、朝 7 時過ぎに家を出ました。台風で少し弱気になっていましたが、ゴルフ場では小野田医師会の先生方のお出迎えが堂々としていて頼もしく、「やる気」が伝わってきました。特に長澤先生は、スタート室と一階受付との間を行ったり来たりと調整に大変そうでしたが、みんなに笑顔で対応されていました。

当然ながらキャンセルは多く、結局、5 組計 20 人での大会開催となりました。午前中はそれなりにプレーできたのですが、台風の接近に伴い雨・風が強くなりました。小野田医師会の先生方の配慮で、スタート時間を早め、ほぼ貸し切りの万年池東コースを 18 ホールスルーでラウンドできました。後半はいよいよ台風が接近し、暴風で傘もさせず、激しい雨で体も冷え、手もしびれてきました。カート上で、河野和明先生の「これはもう修行ですね～」との言葉に、笑いながらみんなうなずいていました。ただ、けがもなく無事に 18 番をホールアウトできてなによりでした。

お風呂に入り表彰式へ。西村公一 会長のご挨拶が 13 時半頃で、窓の外では暴風雨がピークに達していましたが、温かいねぎらいのお話を頂き、穏やかに式が始まりました。できるだけ早く帰路に就けるようにと優勝者からの発表で、いきなり自分の優勝を告げられてビックリしました。参加者みんなに「賞」があり、繰り返される拍手がと

でも心地よく感じました。このような状況の中で、私が優勝できた理由は、同じ組の藤村嘉彦 先生（準優勝されました！）と河野先生、横山一雄 先生達とプレーのテンポやスタイルが似ていたこと、一番目のスタートで天候がまだ落ち着いていたこと、キャディーさんがよかったこと、OB と思ったボールをみんなで探して見つけて頂いた等々、ツキや幸運が重なったことです。大きな「優勝カップ」を手に記念写真、照れくさくもあり、嬉しくもありでした。

台風の中の“修行”ゴルフ、他都市医師会の先生方との交流、そして優勝と、忘れられない一日となりました。最後になりますが、今回幹事をされた小野田医師会の先生方に心より感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。



「山口県の先端医療についての紹介」原稿募集

投稿規程

字数：1 頁 1,500 字、6,000 字 以内

- 1) タイトルをお付けください。
- 2) 他誌に未発表のものに限ります。
- 3) 同一会員の掲載は、原則、年 3 回以内とさせていただきます。
- 4) 編集方針によって誤字、脱字の訂正や句読点の挿入等を行う場合があります。また、送り仮名、数字等に手を加えさせていただくことがありますので、ある意図をもって書かれている場合は、その旨を添え書きください。
- 5) ペンネームでの投稿は不可とさせていただきます。
- 6) 送付方法は電子メール又は CD-R、USB メモリ等による郵送（プリントアウトした原稿も添えてください）をお願いします。
- 7) 原稿の採用につきましては、提出された月の翌月に開催する広報委員会で検討させていただきますが、内容によっては、掲載できない場合があります。

【原稿提出先】

山口県医師会事務局 広報・情報課

〒 753-0814 山口市吉敷下東 3-1-1 山口県総合保健会館 5 階

TEL : 083-922-2510 FAX : 083-922-2527

E-mail : kaihou@yamaguchi.med.or.jp